

見えない困りごとに気づく

—カモフラージュする発達障害の理解と支援—

「周りに合わせて頑張っているのになぜかしんどい」

「ちゃんとできているように見えるけれど実は限界に近い」

— 一見「問題なく過ごしているように見える」その裏側には、本人にしか分からない困りごとや生きづらさが隠れている場合があります。

本講演は、当事者・保護者・支援者の3つの視点から、当事者が自分らしく安心して生活するために大切なことを考えていきます。

講師：申ももこ

だれもが安心して存在できる社会へ そら代表
放課後等デイサービスVERITAS 児童発達支援管理責任者

1978年生まれ。16歳でパニック障害とうつ病を発症し不登校を経験。24歳で結婚・出産した後、息子が4歳半でASD・軽度知的障害の診断を受けたことをキッカケに自身も30歳でASD・ADHDの診断を受ける。離婚後はシングルマザーとして子育てをしながら保育士と幼稚園教員免許を取得し2018年から放課後等デイサービスの仕事に携わっている。自身と息子の不登校の経験をもとに、2017年『そらをとびたかったペンギン』（学苑社）を出版。累計9刷1万部。絵本の副題である『誰もが安心して存在できる社会』を目指して、本業の傍ら、講演会などの活動を行っている。



日程 2026年6月20日（土）14:00～15:30

会場 ベルブ永山 3階講座室（48名定員）

料金 参加費無料

主催 多摩社会福祉士会【学習会】

要事前
申込み

申し込み・お問い合わせ先

電話：080-5373-8146（永田）

メール：ai7sahoro@gmail.com